

発行 学校法人 北星学園
学園報編集委員会
札幌市厚別区大谷地西2丁目3番1号
TEL (代) (011) 891-2731
FAX (011) 892-6097
e-mail koho@hokusei.ac.jp
https://houjin.hokusei.ac.jp
題字/元理事長 時任 正夫

北星学園報

北星学園各学校

- 大 学 (共学)
 - (大学院・文学部・経済学部・社会福祉学部)
- 短期大学部 (共学)
 - (英文学科・生活創造学科)
- 女子中学校
- 女子高等学校
 - (普通科・英語科・音楽科)
- 大学附属高等学校 (共学)
 - (札幌市厚別区厚別町下郷38番地)
- 余市高等学校 (共学)
 - (余市郡余市町里川19丁目2番地)



短大最初の校舎(女学校元寄宿舎)



短大英文科1期生の授業風景(1952年撮影)



テイラー先生と短大1期生(1952年7月1日撮影)



短大70周年を迎えて

理事長・学園長 古川 敬康

本年に北星学園短大創立70周年を迎えることができ、在籍生、卒業生をはじめ、全ての関係者の皆様に心より感謝申し上げます。北星学園大学短期大学部と70周年に亘り神様が共に歩まれ祝された御足跡を振り返り、感謝を表したいと思います。

短大の発足は、1951年4月で、1887年のサラ・C・スマス先生によるスマス塾開設から63年目のことです。「キリスト教精神に基づき女子に短期大学の教育を施し、良き社会人を育成する」という目的を掲げた英文科の女子短大でした。

前身は、3年制の女子高等学校に付加された2年制の英語専門部です。これは、敗戦からの国家再建を目指す教育改革で福田藤楠副知事からエリザベス・M・エバンス園長への英語教師養成の「すずめ」と「道庁の懇望」により1949年4月に設置されたものです。この専門部を改めたのが短大です。使命は「社会および家庭生活の改善進歩」と「北方日本における文化の向上進歩」のために「社会奉仕の精神」と「国際精神」の育成に貢献することでした。

当初、南5条西17丁目中学校・高等学校に併設し、組織運営等は独立しつつも校舎、校舎、諸設備は一部併用し、しかも、一定数の外人教職員は兼(担)任者でした。教員を含め職員31名、各学年定員40名で学生80名ですが、道内トップクラスの高校の受験生ですら多く不合格となり、学内推薦者も「非常にすぐれたごく少数」の難関校でした。

この太い幹から、1954年に家政科の開設、同年、ベビーブームを背景とし「愛と奉仕の精神」に「専門的知識と経験」を備えた幼稚園教諭養成を使命に、以後30年間続いた夜間の短大付設の幼稚園教諭養成所の開設、時を経て2002年には、男女共同参画社会の機運等に応える開学以来の大変革として大谷地の大学校地に移転し、男女共学の大学短期大学部に変成しました。

英文科は、グローバル化で英語の必要性が高まる中、名称を1度だけ、1975年に今の英文学科へ変更し、昨今のコロナ禍でもオンラインも活かす数カ国への留学制度等を充実させ、総合的な英語力を基礎とした航空業、観光業でのコミュニケーション力の修得とホスピタリティ精神の育成にも力を入れています。その一方、家政科は、調理や被服の工作整理等の実習系に加え自然科学系の教育充実を展開し、やはり同年の名称変更では、文部省の「家庭」枠制約で家政学科とし、解けた1989年、「人としての生活の在り方」を追求する生活教養学科と新たに、2002年、発展的に生活創造学科として「生活の質」の「知的創造」という、社会的にすぐ役立つ力が身につく教

育強化をはかり、パソコン技術修得等の多岐な選択肢に広げ現在にいたっています。卒業生は、幼教2,768名、各学科短大20,289名、各学科8,718名と11,571名です。

開設以来、教育の計画方針は、学生が科学的に「知識」を修得し、それを幸福と平和に用いる「知恵」を得ることです。それは、「一人の人間として神の前に立つ存在」として「愛と奉仕の精神」をもち、主体的に生きる人間への成

育強化をはかり、パソコン技術修得等の多岐な選択肢に広げ現在にいたっています。卒業生は、幼教2,768名、各学科短大20,289名、各学科8,718名と11,571名です。

開設以来、教育の計画方針は、学生が科学的に「知識」を修得し、それを幸福と平和に用いる「知恵」を得ることです。それは、「一人の人間として神の前に立つ存在」として「愛と奉仕の精神」をもち、主体的に生きる人間への成

育強化をはかり、パソコン技術修得等の多岐な選択肢に広げ現在にいたっています。卒業生は、幼教2,768名、各学科短大20,289名、各学科8,718名と11,571名です。

開設以来、教育の計画方針は、学生が科学的に「知識」を修得し、それを幸福と平和に用いる「知恵」を得ることです。それは、「一人の人間として神の前に立つ存在」として「愛と奉仕の精神」をもち、主体的に生きる人間への成



鶏鳴

クリスマスを待ち望む人

余市高・宗教主任 塩見 耕一

クリスマスおめでとうございませう。毎年この言葉が繰り返されて2000年近くの年月が流れました。どれほど皆さんのおめでとが交わされたことでしょうか。キリスト者でなくてもクリスマスは特別な時期になるといわれています。それは、温かい気持ちになるのではありませんか。クリスマスはなぜおめでたいのでしょうか。

新約聖書の福音書には最初のクリスマスのお話があります。そこには多くの人々が登場します。イエスの両親、羊飼、占星術の学者たち、洗礼者ヨハネ、ローマ帝国の支配に苦しむ多くの人々。その多くは当時の社会の中で幸せとは言えない状況を抱えていた人々でした。結婚してはいるのに、結婚者とかかわりのない妊婦を助けてくれた若き女性、ユダヤ教の律法の枠の中で安息日も守れないがゆえに穢れたものとされていた羊飼いたち、異邦人であるがゆえに救いの対象でなかった民の一員となっていたのです。クリスマスは救い主イエスの登場によって圧倒的な価値の転換の現実の時を示しています。私たちもその祝福のうちに



TOPIC 大学・短大部

3D&360度 パーチャルツアーを公開!!

2020年度から続く新型コロナウイルス感染症により、受験生が志望校を選ぶ環境は大きく変化しています。緊急事態宣言が発出されたことに伴い、オープンキャンパスや進学相談会の中止が相次ぎ、対話や体験というプロセスがほとんど無くなってしまいました。そのため、情報入手源は非対面で得られるWEBに大きくシフトし、各校の雰囲気や細かい取り組みなどの強みが届きづらい状況に



スマホで、PCで、キャンパスを巡ろう。

「学校説明会・進学相談会」が減っています。幸い、今年度のオープンキャンパスは人数やプログラムを制限したうえで実施することができました。今年度の一番人気のプログラムは「学生キャンパスツアー」で、「施設を見たい!」という参加者の心が強く感じられます。今後もしばらく続くであろうコロナ禍においては、非対面での

TOPIC 余市高

学校行事に参加する意味

余市高3年 小勝 万奈

私は元々修学旅行が大嫌いでした。わざわざ高いお金を払って、そんなに仲が良いわけでもないクラスメイトと一緒に何日も寝泊まりをする。そんなことに意味なんてないと思っていました。でも、学生生活最後の修学旅行でその思いは変わりました。まず1日目、白老まで行くバスの中で、クラスの男子が「宇宙戦艦ヤマト」を歌っていました。思いのほか上手くてびびりました。ウポポ

TOPIC 附属高

学校祭を終えて

生徒指導部長 吉田 牧人

昨年も学校祭の実施に向け、コロナの感染対策を考えながら生徒会執行部での審議を進めました。しかし9月に学級閉鎖や学校閉鎖となったため、今年は学校祭を実施することができませんでした。例年よりも多くの時間をかけ、執行部での話し合いやクラス討議を行っていたので、生徒たちは本当に悔しい思いをしました。今年、昨年の思いを胸に「学校祭を成功させよう」という気持ちを持って実施案の作成をしました。実施案を作り始めた当初は、3密を避けて学校祭を実施できるかを追求したため、各クラスのステーション配信で実施することを模索しました。しかし、案の詳細を詰めていくうちに「全校生徒が集まって学校祭を実施したい」という思いが執行部の中で強くなりました。屋



迫力満点の3年生のパフォーマンス



レクを終えた後の集合写真

2022年度 入 試 日 程

Table containing admission schedules for various schools including 女子中高一貫入試, 女子高等学校, 大学附属高等学校, and 余市高等学校. It lists application periods, exam dates, and qualification dates for different exam types like 推薦入学試験, 専願入学試験, and 一般入学試験.

TOPIC
女子高

全国大会出場!!!

女子高チアダンス部部长 田村 麻結

私たち高校チアダンス部にRASLYは7月30日から8月1日に大阪で行われた全国高等学校ダンスドリル選手権大会に出場してきました。

このチームが結成されて1年半、部員のほとんどがチアダンス未経験の状態から始まりました。RASLYとして初めて大会に出場したのは昨年の12月。その大会では予選敗退という結果になり、悔しい気持ちと同時に次は絶対に全国に行つてやる!という思いでいっぱいになりました。

チームで高みを目指すために練習がハードになっていく中、メンバー全員で励まし合い、辛い基礎練習も、単純に見えるからこそ一つ一つ丁寧に

練習がハードになっていく中、メンバー全員で励まし合い、辛い基礎練習も、単純に見えるからこそ一つ一つ丁寧に

そこからはあつという間に時間が過ぎ去っていき、迎えた全国大会当日、会場ではどのチームも自信に満ち溢れており、迫力のある演技に圧倒

さされた。しかし、私たちの演技も全員が悔いなく踊ることができ、何より楽しかったという気持ちが強かったです。そしてこの大会での経験を次に活かしていきたいと思

次には私たちが新入部員も加えた、新RASLYとして9月25日全日本チアダンス選手権大会の北海道大会に出場し、そこでも全国大会への出場権を獲得しました!この大会は、映画『チアダン』にも出てくる大会で、クラブチームも含めた全国のチアダンス選手が集まります。全国大会は12月12日に東京で行われます。このチームで欠けていない人は誰一人いません。今は14人がいてこそRASLYであ

り、一つのチームです。私たちはそこでも良い結果を残せるように精一杯努力します。さらに、12月5日にはもう一つUSA (United Spirit Association) ジャパンの地区大会にも参加し、全国大会を目指します!

これまで高校チアダンス部を支えてくださった全ての方々に、本当にありがとうございます。これからも応援よろしくお願ひします。

コロナ禍でのファームステイ

体育科 小倉 隆也

今年度は1年生と2年生でファームステイを行いました。後志地方、ニセコを中心として、各農家さんで、農業体験に關越や仁木町など、一泊二日で農業体験と民泊体験に行つてきました。昨年度はコロナの影響があり、ファームステイが中止となつてしま

今年度もコロナ禍での教育活動の制限が多かった中で、生徒たちはとても楽しみにしている行事でした。3台のバスに乗って、ニセコの道の駅に一旦集合、そこから農家さんにグループ毎に体験が始まりました。農家さんの対面、ご挨拶。初めは緊張

したようすで、農家さんのお家へ入っていききました。そして、各農家さんで、農業体験をしました。蕎麦の実を採り、ジャガイモの収穫、薪運び、雑草取りなど。各農家さんで作業のお手伝いを、会話を楽しみながら行ったり、黙々と作業に取り組んだり、一生懸命にお手伝いしました。生徒たちは、もちろん初めての経験でしたが、徐々にこなれていくようすでした。作業の合間には、採れたてのフルーツを頂いたり、アイスクリー

的にやって、たくさんおいしい夕食をいただきました。楽しい時間は早いもので、お別れの時がきました。家にまだ帰りたくないといったようすでした。農業体験をするだけではなく、家とは違う環境、人との触れ合い、コロナ禍では経験ができなかったことが、生徒たちの心の中に大き

な出来事、そして素敵な思い出として残りました。お別れの時には、生徒たち一人一人が素直な思い、農家さんへの感謝の気持ちをしっかりと伝えることができていました。

コロナ禍で大変な状況中、生徒を受け入れてくださった農家さんと仲介していただいたマルベリーさんには、感謝の気持ちでいっぱいです。この貴重な経験はこれからの生徒たちにも是非、体験してほしいと願っています。



京極町農家さんにてニンジン収穫のようす



踊るとき、私たち 無敵

2022年度 入 試 日 程

入学試験区分	学 部	学 科	募集人員	出願期間	試 験 日	合格発表
一 般 選 抜	文 学 部	英文学科	59名	1月11日(火) 1月24日(月) ※Web出願	2月6日(日) 経済学科、福祉心理学科 2月7日(月) 心理・応用コミュニケーション学科、経営情報学科、福祉計画学科 2月8日(火) 英文学科、経済法学科、福祉臨床学科	2月22日(火)
		心理・応用コミュニケーション学科	43名			
	経 済 学 部	経済学科	73名			
		経営情報学科	48名			
	社 会 福 祉 学 部	経済法学科	52名			
		福祉計画学科	43名			
大 学 入 学 共 通 選 抜 (I 期)	文 学 部	英文学科	10名	1月11日(火) 1月27日(木) ※Web出願	大学入学共通テストの成績に基づいて合格判定をします。 ※大学独自の個別学力検査は課しません。 ※選択科目を2教科・2科目以上受験した場合は、高得点の科目を合格判定に使用します。(英文学科を除く)	2月22日(火)
		心理・応用コミュニケーション学科	8名			
	経 済 学 部	経済学科	12名			
		経営情報学科	9名			
	社 会 福 祉 学 部	経済法学科	10名			
		福祉計画学科	8名			
大 学 入 学 共 通 選 抜 (II 期)	文 学 部	英文学科	3名	2月28日(月) 3月8日(火) ※Web出願	大学入学共通テストの成績に基づいて合格判定をします。 ※大学独自の個別学力検査は課しません。 ※選択科目を3教科・3科目以上受験した場合(英文学科は2教科・2科目以上)は、高得点の科目を合格判定に使用します。	3月15日(火)
		心理・応用コミュニケーション学科	2名			
	経 済 学 部	経済学科	3名			
		経営情報学科	2名			
	社 会 福 祉 学 部	経済法学科	2名			
		福祉計画学科	2名			

☆短期大学部 〒004-8631 札幌市厚別区大谷地西2丁目3番1号 (TEL)011-891-2731

入学試験区分	学 科	募集人員	出願期間	試 験 日	合格発表
一 般 選 抜	英文学科	42名	1月11日(火)~1月24日(月) ※Web出願	2月6日(日) 生活創造学科 2月7日(月) 英文学科	2月22日(火)
	生活創造学科	20名			
大 学 入 学 共 通 選 抜 (I 期)	英文学科	5名	1月11日(火)~1月27日(木) ※Web出願	大学入学共通テストの成績に基づいて合格判定をします。 ※大学独自の個別学力検査は課しません。 ※I期:選択科目を2教科・2科目以上受験した場合は、高得点の科目を合格判定に使用します。 ※II期:選択科目を3教科・3科目以上受験した場合は、高得点の科目を合格判定に使用します。	2月22日(火)
	生活創造学科	2名			
大 学 入 学 共 通 選 抜 (II 期)	英文学科	3名	2月28日(月)~3月8日(火) ※Web出願		3月15日(火)
	生活創造学科	2名			

☆大学院 〒004-8631 札幌市厚別区大谷地西2丁目3番1号 (TEL)011-891-2731

課程区分	研究科名	専 攻 名	募集人員 (第1期/第2期)	出願期間	試 験 日	合格発表
修 士 課 程	社 会 福 祉 学 研 究 科	社会福祉学専攻	4名/4名	第1期 1月14日(金)~1月21日(金) 第2期 1月14日(金)~1月21日(金)	第1期 終了 第2期 2月26日(土)	3月4日(金)
		臨床心理学専攻	4名/若干名			
	文 学 研 究 科	言語文化コミュニケーション専攻	4名/4名			
博 士 [後 期] 課 程	社 会 福 祉 学 研 究 科	経済学専攻	3名/2名	1月14日(金)~1月21日(金)	2月26日(土)	
		社会福祉学専攻	3名			

短大開学70周年記念 卒業生・在校生座談会

北星の学びを誇りに、世を照らす星となれ

■キャンパスの思い出、大切な友達との出会い

松本 私が学生時代を過ごしたのは南4条キャンパスでしたが、移転して20年ほど経つのですね。現在も仕事などで北星キャンパスを訪れることがあります。旧キャンパスを懐かしく思い出します。



清水 百年記念館や木造の廊下など、至る所に歴史が息づいていましたね。私は裏参道の近くにあった「円山寮」に入寮していた、夜になると誰かの部屋に集まっておしゃべりしたり、日曜日にみんなで教会の礼拝へ出かけるのが楽し



まつもと ゆこ **松本 裕子さん**

1993年 英文学科卒業
フリーキャスター/医療キャスター
外資系企業秘書やキャビンアテンダントを経てフリーアナウンサーに転身。福井テレビを経て「UHBスーパーニュース」キャスターを10年間務め、現在は医療キャスターとして取材活動を行っている。「松本裕子の病を知る」(第2・4日曜6:15~) 放映中。

学部 開学70周年記念

継がれる知の輝き

周年を迎えます。
に教育のあり方は変容を遂げてきましたが、北海道の女子 in a dark world」は、今も変わらず息づいています。

年の歩み

学<英文科>
置
攻科開設
英文学科に、家政科を家政学科に名称変更
を生活教養学科に名称変更
年
大学短期大学部に校名変更し男女共学化、
生活教養学科を生活創造学科に名称変更
部、開学70周年



しみず かずえ **清水 一江さん**

1987年 家政学科(現・生活創造学科) 卒業
FMアップル パーソナリティー

3人の子どもを育て上げ、50歳でパーソナリティーとしてデビューし、現在2つの番組を担当。北星学園大学同窓会幹事。

ラス会を企画したりして友達の輪を広げました。僕は好きな英語を勉強したくて北星に進学したので、同じ気持ちを共有できる仲間に出会えてうれしく思います。

松本 私も海外留学したくて北星を選んだので、國枝さんの気持ちがよくわかります。当時の北星は留学中の単位認定制度を利用できる数少ない短大だったので、卒業が遅れることなく留学の夢をかなえることができ、とてもうれしかったことを覚えています。

鈴木 私は早く社会に出たくて、就職支援が充実している北星を選びました。生活創造学科は男子学生がいなかったので、少人数ゼミで絆を深め、毎日が女子会みたいにワイワイ楽しく過ごしています。

清水 短大で出会う友達は一生の友達になりますよ！私は短大時代の友人と一緒に子育てをして、今も親しく付き合っています。さらに現在は同窓会の活動を通して、世代を超えた北星の絆を改めて実感しています。

松本 同感です！1年生の夏から9ヵ月間、一緒にイギリス留学した7名は生涯の大親友になりました。仕事や結婚、出産などその後の人生はさまざまですが、会えばすぐに昔に戻れるのは、同じ時間を生き、ともに夢を追った仲間ゆえの絆かもしれません。

南4条校舎と女子短大同窓会

英文科 1965.3卒業 小村 知江子

卒業してしばらくは同窓会を思い出すことはほとんどなかった私でしたが、年齢と共に総会・懇親会に出席するようになり、いつしか同窓会のお手伝いをしていました。

南4条校舎の日当たりの良い同窓会室では、家政科1期高谷光子会長のもと、年1回「同窓会だより」の発行・発送、名簿の整備、毎年開催の「総会・懇親会」と支部訪問(道北、道東、道南、関東)の準備、短大園祭で販売するパウンドケーキ作り(短大調理室をお借りして)、卒業式の貸衣裳企画等の活動を行いました。10人ほどの幹事で忙しくも楽しく活動し、当時の教職員の皆様には大変お世話になりました。

その後、短大が短期大学部となって大谷地に移転すると聞かされた時、慣れ親しんだ母校が変わることに寂しさを感じました。しかし、2002年4月、大谷地キャンパスに移転し短期大学部同窓会となった際、大会館内に南4条校舎の同窓会室のような日当たりと眺めの良い部屋が用意されており、皆で感謝いたしました。48年間続いた女子短大同窓会と短期大学部同窓会は、2009年に大学同窓会と統合し、一つの同窓会になりました。

開学70周年を迎えた短大の更なる発展をお祈りしますとともに、これからも変わらず応援してまいります。



前学園長の酒井玲子先生を囲んで(一番右が小村さん)

■恩師への変わらぬ思い、時代とともに変わる学び

清水 私は同窓会幹事をしており、先生たちと関わる必要がありますが、昔も今も北星の先生方は素晴らしいですね。学生のために心を尽くしてくださる先生が多いのは、キリスト教の精神が影響しているのかもしれないですね。

松本 確かに先生はとも近い存在でした。英語の成り立ちや歴史などを厳しくも面白く教えてくれた清瀬健先生の英語学、吉田かよ子先生の発音法など楽しい授業がいっぱいあって、先生自身が英語に情熱を持って取り組まれていることをひしひしと感じていました。

鈴木 清水さんは生活創造学科の大先輩ですが、当時はどのような授業があったのでしょうか？

清水 当時の名称は「家政学科」で、被服や食物栄養、生活導線など衣食住全般を学びました。北星学園の創立者であるサラ・C・スミスは、札幌の婦人たちに英語と料理を教えることで女子学校設立の礎を築いたそうですから、短大の2学科は北星学園のルーツそのものといえるかもしれません。当時は短大にも教職課程があり、私も中学校家庭科教員免許を取得したんですよ。家政学科は、その後生活教養学科を経て生活創造学科になったのです。今はどんなことを学んでいるのですか？



くにえだ けんた **國枝 建太さん**

英文学科 2年
札幌創成高等学校出身

鈴木 現在は文化、芸術、心理学、社会学、経済学、情報技術などを学修領域として、消費者問題や暮らしの法律、デザイン、パソコンスキルなど、生活に密着したテーマを学んでいます。

松本 学科のカリキュラムにも、時代とともに変化してきた女性の生き方や社会のニーズが反映されるのです。でも社会で役立つ実践的な学びの機会が提供されている点は、昔も今も変わりませんね。

■北星で学んだ2年間で、きっと未来の礎になる

清水 短大の2年間はあっという間ですね。進路は決まっていますか？

鈴木 観光業界を志望しており、コロナ禍の影響が大きい業界だったので早期から就活に取り組みました。来春からは登別のホテルで働き始

短大開学70周年をお祝いして

生活教養学科 1994.3卒業 西藤 陽子

私は1992年に女子短期大学に入学しました。その年の入学者数は生活教養学科だけで300名を超えており、華やかで賑やかな短大生活でした。卒業後は、短大教務課実習室係として採用され、その後女子中高事務室、大学と異動し、現在は大学社会連携課で勤務しています。今こうして長く母校で働くことができているのは、周囲の皆さんの支えがあったからだと思い、心から感謝しています。

短大での思い出は尽きませんが、多くの尊敬すべき恩師に出会えたことが一番の喜びです。調理実習担当の三浦春恵先生、東川尅美先生には、学生時代に教わっただけではなく助手として一緒に仕事をさせていただきました。お二人の人柄を通して、社会人として大切なマナーや振る舞いを学ばせていただきました。寺岡宏先生には、学生時代に授業を休んだことで呼び出されたこともありましたが、常に優しく励ましていただきました。卒業後は、寺岡先生の通う北一条教会に誘っていただき、自然と私もキリスト教を信じるようになりました。

「神と人を自分自身のように愛しなさい」「神は私たち一人一人を高価で尊い存在として見ておられる」という聖書の教えは、北星短大の教育そのものであり、社会人となってからも母となった今も、私の生きる指針となっています。70年続いた短大の教育とその歴史を忘れずに、北星学園がさらに飛躍していくことを心より願っています。



恩師の寺岡宏先生と久しぶりの再会 北一条教会にて

懐かしい「北星学園女子短期大学」

英文学科 1996.3 卒業 畠山 美保

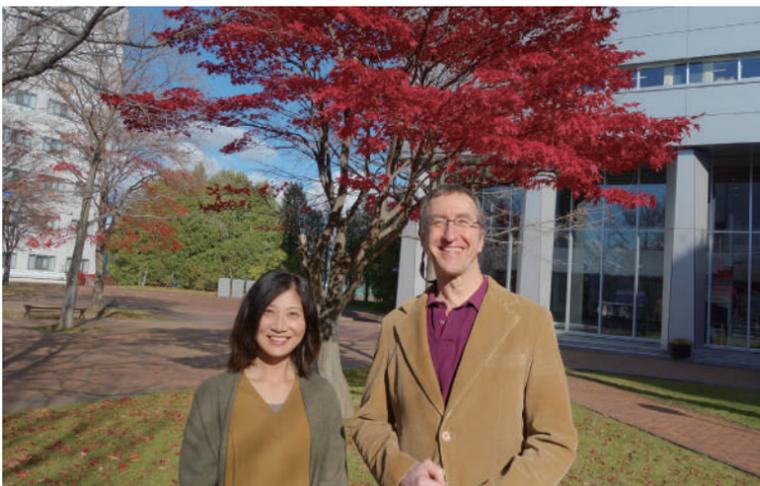
私は、1994年女子短期大学に入学し、その後、大学の英文学科へ編入致しました。現在は、恩師である坂内正先生からご縁をいただき、短大生と関わりの深い、英文学科資料室で勤務させていただいております。

女子短大の思い出と言えば・・・①「個人ロッカーと学内上履き用の指定ナースシューズ」。体育用のジャージと上靴も指定で、驚きの連続でした。②生活教養学科食文化コースの先生が開催してくださった「貧血学生対象：貧血改善レシピ紹介&試食会 in 調理実習室」。行き届いたケアを嬉しく思いました。③教職課程履修で出来上がる「5講目までフルに埋まった時間割」。当時は、短大でも教員免許が取得できました。また、土曜日にも講義があり、取得総単位数は100単位超え！④放課後の日課は、「学内トレーニングルーム通い」。南4条キャンパスには、本当にお世話になりました。

短大部になってからも変わらない伝統の1つはクラス・担任制度で、先生と学生との距離が近く、温かな雰囲気は健在です。多様な海外プログラムやチューター制度等、当時より充実していることもたくさんあります。

短大生の皆さんが、有意義な学生生活を送ることができるよう、微力ながらもそのお手伝いをさせていただけていることは、とても光栄です。私にこの環境を与えてくださっている皆様には、心から感謝申し上げます。

最後になりましたが、Congratulations on our 70th anniversary!!



短大英文のジャン・マウン先生と 大谷地キャンパス中庭にて

短大クイズ

短大開学70周年を記念して、「Hokusei Gakuen University Junior College 70th Anniversary Quiz」を実施します。

回答いただいた方の中から抽選で素敵な景品をプレゼントいたします。

詳細は後日、大学HPに公開しますので、お楽しみに！

北星学園大学短期大

時代を超えて受け

北星学園大学短期大学部は 1951 年に開学し、今年で 70 周年を迎えます。学科改編やキャンパス移転、男女共学化など、時代とともに教育の礎を築いたサラ・C・スミスの志「Shine like stars」を継ぎ、未来を拓いていきます。

年	出来事
1951 (昭和26) 年	北星学園女子短期大学開学
1954 (昭和29) 年	女子短期大学に家政科設置
1958 (昭和33) 年	女子短期大学英文科に専攻科設置
1975 (昭和50) 年	女子短期大学の英文科を英文学部に改組
1989 (平成元) 年	女子短期大学の家政学科を家政学部に改組
2001 (平成13) 年	女子短期大学、開学50周年記念式典開催
2002 (平成14) 年	女子短期大学を北星学園大谷地に移転、同時に北星学園大学短期大学部として発足
2021 (令和3) 年	北星学園大学短期大学部 70周年記念式典開催



鈴木 未侑さん

生活創造学科 生活心理コース 2年 北星学園大学附属高等学校出身

「東京の大学に指定校推薦で編入予定です。外資系企業か航空業界を志望しているので、コロナ禍の収束を願いつつ、英語に磨きをかけたいと思っています。」

松本 コロナ禍の学生生活はさまざまな苦労があったでしょうね。でも、北星の学びはきっと皆さんの人生の糧になるはず。私は卒業後に翻訳の専門学校、2度目のイギリス留学、秘書、キャビンアテンダント、フリーアナウンサーと紆余曲折を経験してきました。回り道ゆえの困難もあつたけど、たくさんの方の支えのおかげで乗り越えられた。キャスターという道へつながっていったのです。その礎となっているのは、人生で一番勉強したと言えるほど充実していた北星の2年間に他なりません。当時は短大卒というだけで就職の選択肢が限られることもありましたが、「北星で一人一歩学んだのだから絶対に負けないぞ」という自信が

「次は何をしようか」とワクワクできるのも、北星で学んだ誇りがあつたから。サラ・C・スミスが日本で初めて植えたライラックが春に花を咲かせるたび、北星への愛校心が湧き上がってきます。皆さんも北星で学んだことを誇りに思い、自信を持って歩み続けてください。

松本 コロナ禍で世の中が暗く混沌とした時代の今、「Shine like stars in a dark world」とい



「言葉が改めて心に響きます。大切なのはどんな肩書きを得るのではなく、誰かに必要とされることを喜びと感ぜられるかどうか。星のように輝いて誰かを照らす存在となるよう、今こそ北星の建学の精神を心に留めて頑張っていきたいと思います。」

國枝・鈴木 本日はありがとうございました。



PICK UP!

学園各校のいろいろな人、場所、取り組みを知るための情報コーナー「PICK UP!」。
今回は、施設や設備について紹介します。

附属高

北星学園大学附属高等学校施設紹介

保健体育科 主任 沼山 健 吾

北星学園大学附属高等学校の屋内体育施設紹介をさせていただきます。
附属高校内にはメインアリーナ、サブアリーナ、体育室、ウエイトトレーニングルームという四カ所の体育施設があります。

主となるのはメインアリーナです。メインアリーナはバスケットボールオールコート2面を作ることができるほどの広さです。その点で他校と比較させていただいても素晴らしい施設です。高体連などの公式大会でも頻りに利用されています。その他、全校集会や入学礼拝・卒業礼拝、フィリア祭など数々の学校行事でも使用されています。体育授業ではバスケットボールの他、バレーボールやバドミントンなどを行っています。

メインアリーナの上階にはランニングデッキも完備しています。クラブ生だけではなく、放課後2時間は一般生徒にも開放しており、生徒たちはクラブ生とともども積極的に使用し、よい汗を流しています。メインアリーナに向かうフロアには視聴覚室、会議室、男女更衣室、トイレを完備しています。

次にサブアリーナです。サブアリーナはバレーボール国際規格に準じた作りで、体育授業の他、バレーボール部が主に使用しています。

次に体育室です。体育室は主に剣道部や卓球部が使用しています。野球部、サッカー部以外の体育会系、文化系クラブの部室は体育室内に完備されており、生徒たちは部室で着替えなどを行っています。

次にウエイトトレーニングルームです。クラブ生を中心に身体作りを目的としたウエイトトレーニングに励んでいます。冬場は特に利用者や使用頻度が高くなり、入室できないこともあります。体育会系部活には欠かせない施設となっています。

これら四カ所が北星学園大学附属高等学校の屋内体育施設になります。



バスケットボールオールコート2面とれるメインアリーナ



サブアリーナで練習する女子バレーボール部

余市高

収穫が増えると設備も増える(悩)

国語科教諭 安河内 敏

本校では2014年よりワイナリープロジェクトを始め、2015年より総合的な学習としての講座「ぶどうのおしごと」を開講しています。余市町は今や「日本ワイン」の産地として、日本のみならず世界から注目されています。せっかく余市町にある学校としてこれを活用しない手はないと考え、始めたものです。実は本校独自に考えたものではなく、北星学園大学の社会福祉学部・文学部・経済学部のそれぞれの先生たちがタッグを組んでくれて、余市町の資源を研究してくださり、この取り組みをつないでくれた総合学園ならではの取り組みでもありました。しかし始めてみると開墾はどうする？ 苗は？ 農薬は？ 収穫した後搾るのは？ 醸造は？ できたワインの保管は？ 国税局への登録は？ 獣から実を守るための電柵は？ など次々解決しなければならぬ問題があり、本当に多くの方に助けられてここまで来ました。これから世界的に有名になるワイナリーと良好な関係を

続けていきたいと思っています。リリースは、17年12本、18年24本、19年52本（ドメーヌタカヒコ委託醸造）、20年80本（ラン・セッカ委託醸造）です。今年も10月8日に収穫したところ130kgあり、100本以上になる予想です。全てピノ・ノワールで勝負しています。何代かにわたって生徒たちが育ててくれた木が立派に育ってきました。最近も余市町のワイン特区10年ということで、北海道新聞全道版に取り上げていただきました。目下の悩みは、収量が増えることでその保管をどうするかです。60本入るワインセラーが1つあるのですが、すでに足りません。外に流通させる必要がありますが、今度は酒販免許が・・・とまた解決しながら進んでいきたいと思っています。



ワインセラーです

大学・短期大学

コロナ禍のラーニング・コモンズ

教育支援課 廣川 和 貴

ラーニング・コモンズ(LC)は自主的な学びを支援するための学習専用スペースで、開館以来多くの学生に利用していただいております。多種多様な学習スタイルに合うように考えられた6つのエリアがあり、グループワーク、創作活動、プレゼンテーションなどの学習を行うことができます。また、学習に役立つさまざまな設備・備品などが用意してあります。コロナ禍でも、学生の学びを止めないため、学びの質を下げないために、オンライン等を活用した支援の提供やLCの役割を模索してきました。

まずはオンライン授業のためのLCの解放です。授業形態が対面とオンラインで混在しているため、場所や機材に手間取る学生は少なくありませんでした。そこでLCの中で予約利用専用だった学習エリアを、オンライン授業用に開放する試みを行いました。PCやヘッドセットマイクも借りられるため、多くの学生が活用してくれています。

次にオンラインツールの導入です。対面のみだった学習支援の仕組みを整え、ウェブでの相談受付とZoomによる相談が可能になりました。これは、感染症以外の理由で大学に来られない学生にとっても有益な選択肢となりました。

LCには、学生団体北星ピア・サポーター(ピアサポ)が常駐し、授業や履修の相談の対応をしております。最近では、ゼミの選び方や定期試験に向けての勉強方法など学科学年問わず様々な相談があります。ピアサポは自身の経験を踏まえながら、親身に対応してくれています。

学習サポートセンターが提供するものは、学びのスペースや問題解決を目指す支援だけではなく、

学びのための充実した環境や資源、そして共に学び合う仲間の存在です。コロナ禍でもそれが失われることのないように、学習支援活動を続けていきたいと思っています。



「学び」と「出会い」の場であるラーニング・コモンズ

女子中高

コロナ禍での導入機材について

教頭 蔵本 博 史

新型コロナウイルスの感染拡大にともない本校でもいくつかの機材を導入しました。

まず、教室での換気のための扇風機です。扇風機と言っても広い教室の空気を動かす必要があるため、各教室に設置されているものは家庭用よりも風量の多いものとなっています。これに加えて、窓や教室前後の出入り口を開放することで効率的に換気を行うようにしています。

また、乾燥するほどウイルスが飛散しやすくなるため、とくに暖房等で乾燥しやすくなる冬に向けて加湿器も各教室に2台ずつ用意し、稼働させています。ただし、加湿器は定期的に清掃を行わないと逆効果にもなりかねませんので、定期的な清掃を怠らないことにも気を配っています。

それ以外にも生徒玄関及び教職員玄関に検温器を設置し、生徒・教職員が入校の際には必ず検温とアルコールによる手指消毒を行っています。また、外部からいらっしゃる方すべてにも同様にしようをお願いをしています。

今回もっとも大きかったのは中学生全員にタブレットを導入したことではないかと思っています。今年と同時に校内でWi-Fiが使える環境を導入したことで、休校時に生徒が在宅状態になっても教職員による授業配信や、朝の礼拝で直接やり取りを行うことが可能になりました。家庭で使える機材がない生徒にもこのタブレットを貸し出すことで、オンラインで学校・教員と生徒が繋がることができるようになったのは本校にとっては大きな一歩だったと思います。

もちろん、授業においてICT機器を使った際の教員のスキルアップやこの間、散見された細かな通信環境のトラブルなど私たちが考えなくてはならない多くの課題も見つかりました。いずれこのコロナ禍が終息したとしても、教育のさらなるICT化が進んでいきます。今後も教職員一同、日々研鑽を続けていきたいと考えております。



タブレットを使っているようす

教育 随想

ポレポレ部について

女子中高英語科主任・教育研究部 藤原 功生

本校に限らず、教員は多忙な業務の合間を縫って、多様な教育ニーズや日々進歩する教育技術の対処・対応に追われています。女子中高では、教育研究部が立ち上がり、定期的な校内研修を実施していますが、事後のアンケートなどを通じて、教員の中には「さらにICTの実践について学びたい」「生徒指導についてより具体的に学びたい」など、各人で異なる種類・段階への意欲を抱えていることが分かりました。しかし、全教員が参加して同内容の研修を受けるという一般的なスタイルでは受け皿になることは難しいのが現実であると言えます。そこで、教育研究部が中心となって、研修に意欲的な教員に声をかけ、自主的・サークル的な活動の立ち上げ

同窓生紹介

お客様に寄り添った営業活動を目指して



短期大学部生活創造学科 2013年3月卒業
三菱鉛筆北海道販売株式会社

小島 綾華

私は短期大学部生活創造学科を卒業後、三菱鉛筆北海道販売(株)に営業として採用され、お客様へ商品や売り場、販促策、ノベルティなどのご提案を行っています。

在学中はクリエイティブデザインゼミに所属し、デザインの知識やグラフィックソフトを使った表現を学びました。自分が興味のある「デザイン」だけでなく、情報処理や簿記など、

学びたい分野を選択して幅広く学ぶことができ、2年間という短い期間で非常に密度の濃い学生生活を過ごす事ができました。現在の仕事でも、店頭で使うPOPやOEMのオリジナル台紙のデザインなどをパソコンで作成・加工することがあり、短大で学んだ事が活かされています。北星学園大学には営業活動のため今でも頻りに訪れており、北星オリジナルデ

ザインの鉛筆を作らせて頂いたり、在学中の学生さんからデザイン協力を得て制作した消しゴムやボールペンをオープンキャンペーングッズとして使用していただいたり等、大変お世話になっております。筆記具は非常に身近な存在で、日常的に使うものだからこそ、差別化することが難しいと感じます。数ある中から選んでもらえるように付加価値を付けた提案力が求められるので、苦勞する事もありますが、お客様に喜んでいただき受注に繋がった時はやりがいを感じます。今後もお得意先やユーザーに寄り添った営業活動を心掛け、母校にも引き続き貢献していきたいと思っております。

学園報 アーカイブズ



短大の飛行機修学旅行

一年おきに行われているのが北星女子短大の飛行機修学旅行は、今年も四回目です。去る一月五日午後零時半千才発の日航機で東京に向い、九州を目指してその途についていた。一行は一、二年生五〇名中からの希望者だけで、参加人員は八十三名で、引率責任者は短大専任講師熊谷孝美氏であった。



このコーナーでは過去の北星学園報に掲載された思い出深い記事を紹介します。今回は、昭和41年2月25日発行の第9号2面より「短大の飛行機修学旅行」の記事をご紹介します。短大70周年の長い歴史の一端を垣間見ることが出来る記事となっておりますので、ぜひご覧ください。



コースは千才ー東京ー大阪までは日航のジェット機で、ドラックスな空の旅を楽しみ、大阪からは汽車で別府、阿蘇、高千穂、宮崎、鹿児島、熊本、雲仙、長崎などを歴訪して九州を一周し、福岡で解散した。七泊八日の旅行で、費用は一人分三万一千円を要した。この長途の旅で片道

私の本棚

「問いかける」という行為

大学経済学部准教授 田中 恭子

今回紹介するのは「問いかける技術ー確かな人間関係と優れた組織をつくる」(原題:Humble Inquiry: The Gentle Art of Asking Instead of Telling)です。タイトルを一言すると自己啓発的なマニュアル本の印象を受けますが、著者のエドガー・H・シャイン氏は経営学者であり組織心理学、組織開発の第一人者です。この本は組織行動論の組織開発分野に、その必要性や効果について述べています。従来型の「自分が動き、自分が話す文化」を問題視し、「適切な質問」

が現代の多様化・複雑化した社会で良好な人間関係を構築するために必要であることを強調しています。謙虚に問いかける際の「謙虚さ」には、相手に対し興味・好奇心を抱く態度や、必要な情報を相手も持っている一時的に頼る、課題解決のためにメンバーに依存し協力を求める姿勢であると考えられます。研究教育職に就いている場合、「自分が話す」ことも「問いかける」ことも日常的に行う行為であり、どちらも相互依存を認識して謙虚に行わなければならないと改めて感じたい次第です。

「問いかける」という行為は、組織開発手法をより広範に適用したのにもなります。この本との出会いも、別の専門書を検索した際に偶然目につき、組織文化論大家の著書であったこと、仕事上の個人的疑問に関連していたことがきっかけでした。経営学分野の書物としても、実践的入門書としても印象深い一冊であります。

原題である「謙虚に問いかける」を主題としながら、実際の問いかけの手法紹介と、その必要性や効果について述べられています。従来型の「自分が動き、自分が話す文化」を問題視し、「適切な質問」

記念館

女性科学者・加藤セチ

北星学園創立百周年記念館

矢 島 あづさ



理研で女性初の主任となったセチ 提供:理化学研究所

北星に勤めながら北大に挑戦

大正時代に北大最初の女子学生、理化学研究所の女性研究者第一号となった加藤セチをご存じでしょうか。当館に理研が企画した「映像評伝加藤セチ吸収スペクトルで物質を探る」のビデオはありますが、今まで収納棚の奥に眠っていました。そのビデオを観るきっかけは、つくば市在住の加藤祐輔さんから「セチが教師として北星に勤めていた頃の資料はありますか?」と問い合わせがあったからです。加藤さんは、セチの遠い親戚にあたり、札幌北一条教会のオルガニストの経験も持ちました。現在は、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構で、セチと同じ科学者の道を歩まれています。

生活のために教師の道へ

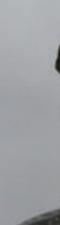
1893年、セチは山形の豪農に生まれましたが、酒田大地震により母、兄、姉を亡くします。生家も破壊され、巨額の負債を抱えたまま15歳で父も亡くし、継母キン、姉フミ、妹マサと生き抜くために、セチは教師になることを決意。山形女子師範学校へ入学し直して、小学校の先生として働き始めます。ところが、東京へ出て勉強したい。人間は若い時で



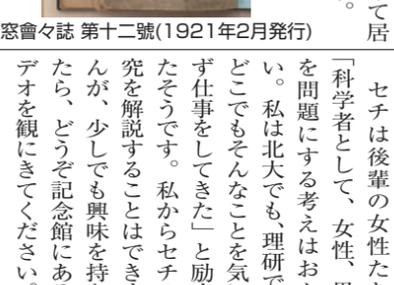
1921年3月 教師写真 加藤セチ(前列左)

「東京へ出て勉強したい。人間は若い時でだけ勉強して置かないと、後で必ず後悔する時がくるから」と繰り返して手紙が届きます。そこで、セチは東京女子高等師範学校で学び直し、卒業後は「給料が最も高い」札幌の北星高等女学校に勤めたのです。北星でセチはどんな教師だったのでしょうか。同窓会々誌「第十二号」を開いてみると、卒業生の原ふみ子が書いた「室蘭同窓会集」に手掛かりを見つけました。室蘭に嫁いだセチの姉・岡本フミ子で同窓会が開かれ、原は「加藤せつ子先生は時々休暇を利用して室蘭の御姉様へお出いらっしゃるわけであって何時も斬新な気分で行くと御出になる御様子は誠に羨ましく思われます。今後の婦人はあれ位まで進取的に行かなければならぬと常に刺激を受けて居ります」と綴っています。

セチは後輩の女性たちに「科学者として、女性、男性を問題にする考えはおかしい。私は北大でも、理研でもどこでもそんなことを気にせず仕事をしたい」と励ましたそうです。私からセチの研究を解説することはできませんが、少しでも興味を持たれたら、どうぞ記念館にあるビデオを観てください。



加藤セチ 提供:理化学研究所



同窓会々誌 第十二号(1921年2月発行)



教室の窓から

非対面講義を實踐して思うこと

経済学部 経営情報学科 専任講師 鎌田 直矢



教員からのメッセージ (経営情報学科公式 Twitter より)

大学の講義がオンライン中心となり、約1年半という時間が経過した。講義の実施形態が変化していること、学生は不便や不安を感じていると思...

私は「本質は変わらない」という言葉をメッセージに選んだ。伝えられたことは、たとえ講義の実施形態が変化しても、その本質は変わらないということであった。講義の本質は知識の伝達を目的とし、教える側と学ぶ側が出会う場であるが、時間や空間を共有することは表面的ではないというメッセージであった。そして知識の伝達において最も重要となるのは受け手のモチベーションだということとを暗に示していた。



大学構内のようす

各校のクリスマスのようす

例年、一般の方々にもご参加いただける行事をご案内しておりましたが、新型コロナウイルスのようすをお届けします。



クリスマスツリー点灯式の花火 (附属高)



クリスマス礼拝のようす (余市高)



クリスマスツリーとステンドグラス (大学・短大)



クリスマス礼拝 (女子中高)

新任教職員紹介



企画広報課 書記 田中 貴浩

7月より企画広報課の補助金係に配属となりました田中と申します。前職での経験を活かしながら、職員の一員として力になれるように日々努力いたします。担当業務である補助金の申請にあたっては、皆様には様々な形でご協力いただくこともあるかと思いますが、これらより多くお願いいたします。

教育振興寄付金

ご寄付いただき感謝申し上げます。

キリスト教に基づく教育を建学の精神とする北星学園の教育活動に対し、ご理解とご協力をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

寄付

2021年6月1日から2021年10月31日まで (敬称略)

- List of donors for the Education Promotion Contribution Fund, categorized by school (University, High School, Attached High School).

カット紹介

今回のカットは 女子中高 生徒一同

コロナ禍における学習の環境で各自イラスト作成に励みましました。全作品を掲載することはできませんが、その中から何点かを掲載いたしますので、ご覧ください。今後も社会情勢に合わせた最大限の学習を続けていきたいと思っております。

編集後記

感染状況が落ち着きを見せはじめ、長い自粛生活にもゴールが見えてきています。本学園でも少しずつ教育活動が再開され、日常を取り戻しつつあることを大変嬉しく思います。

今号は、開学70周年を迎えた短大の記念号となっています。70年の歩みや伝統、そしてこれからの短大への想いがこめられた内容となっておりますので、ぜひご覧ください。

- List of editorial committee members and their affiliations.